

2021年

# わかまつ便り

2月号

共立介護福祉センターわかまつ  
〒400-0866 甲府市若松町6-35  
・グループホームわがや  
・小規模多機能ホームわかまつ  
TEL 223-8101  
TEL 223-8105

## わかまつのちょこっとメモ

一重マスクは「両端の隙間をなくしフィットさせるための方法」としてのものですが、重ねれば良いというのではありません。飛沫が入り込む隙間をいかに減らすかが重要であるマスクをフィットさせることが大事であることが強調されています。

暦の上では春となる節目を迎え、わかまつでも豆まきを行いました。皆さん鬼が現れると「鬼は外！福は内！」と元気に豆（丸めた新聞紙）を投げて見事に鬼退治をされました。コロナウイルスも退治して、安心して生活が送れるようにとも願っていました。

また、恵方巻づくりも行い、皆さん昔取った杵柄は衰えていないようで手際よく巻かれていき、あつという間に太巻きを作られて、味も格別、美味しくいただきました。



## 節分～豆まき・恵方巻～



## バレンタイン

利用者様にはあまり馴染みのない行事ですが、お菓子作りを提案すると、「楽しそうだね」と興味を持つてくださいました。わいわいガヤガヤと丸いホットケーキを作られ「上手に焼けたよ」と次々と焼き上げて、飾りつけも完璧にきれいにおいしそうに仕上げられました。

チョコレートフォンデュでは匂のイチゴやパイナップルなど果物にチョコをたっぷりと付けて召し上がり「甘くて最高！」と好評で、皆さんとても喜んで下さいました。

コロナウイルスは自粛要請や個々の感染予防によって全国的に感染者は減少傾向にあります。ワクチン接種も医療従事者から始まりましたが、一般の接種にはまだ時間がかかる様子で気を緩められない状況は続きます。今一度3密を避け、手洗い、マスク着用による感染予防を心がけていきましょう。

■マスクやフェイスシールドの効果（スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果）

対応方法	なし	マスク				フェイスシールド	マスクシールド	
		不織布	布マスク	ワレタン	カバ			
吐き出し飛沫壁	100%	20%	18-34%	50% <sup>-2</sup>	80%	90% <sup>-2</sup>		
吸い込み飛沫壁	100%	30%	55-65% <sup>-2</sup>	60-70% <sup>-2</sup>	小さな飛沫に対しては効果なし (エアゾルは防げない)			

※2 個別条件による